

1	審議会名	第3回真田地域協議会
2	日時	令和4年6月28日(火) 午後7時00分から午後8時00分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	青木妙子 委員、荒木克子 委員、金井由造 委員、木島徳行 委員、重倉政三 委員、清水由香 委員、高寺由美子 委員、滝沢博文 委員、田畑和秀 委員、中村すみ子 委員、堀内和子 委員、堀内正寿 委員、堀内靖子 委員、松本規男 委員、丸山美奈子 委員、皆川克彦 委員、宮島幸男 委員、柳沢泉 委員
5	市側出席者	田中地域自治センター長、羽毛田地域自治センター次長兼地域振興課長、半田市民サービス課長、小林産業観光課長、皆瀬建設課長、松木教育事務所長、山浦真田消防署長 宮島課長補佐兼地域政策担当係長、櫻井主査、坂井主事、望月主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和4年6月29日

協議事項等

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 センター長あいさつ
- 4 報告・確認事項
 - (1) 真田地域の自治会と自治センターの協働について
 - ・地域振興課長から説明
 - ・地域振興課地域政策担当から説明

【質問】

(委員) 自治会のあり方が過渡期に来ていると思う。少子高齢化がこういう部分で影響している。

(委員) 補助金の事について、先日の有線放送の廃止に係る部分での話なのだが、地域で古い外部スピーカーがついているものを新調したいが防災資機材の補助金で対応可能か。

(地域政策担当) 外部スピーカーの設置に関する補助金ということだが、自治会からこのようなご相談をいただく場合は市の財源ではないので、クーちゃんマークの宝くじ財源とした一般コミュニティ助成事業というものを紹介している。これは上限250万円まで、10/10の割合で補助が可能だ。一度使うと先5年間は使えなくなる(同補助金の採択候補にならない)という事情がある。現在ご相談いただいている外部スピーカーの設置についてはその他の補助金がないかこちらで研究させていただき、またご質問にあった防災資機材の補助金についても担当に確認してまた連絡させていただきたい。

(委員) かなり自治会内の役員が多くなっていることを聞いている。やってくれる人がいないなどこの自治会も同じだと思うが、行政からとか社会福祉協議会からとか、依頼される委員職が多いように思う。一つの役に3人など多いなど感じるものもあるので、そのような現状をもう少し考えていただきたいという要望だ。今までは退職した方が自治会役員などやってきたこともあるが、働く世代が増加している中で、行政また各種団体にもこのような状況を共有し役員の依頼について考えてほしいと思う。

(地域振興課長) 今同じような自治会の役員が大変だという声を非常に多くいただいている。市としても自治会負担の軽減のため一つでもそういった役を減らしていけるよう関係課で協議し、引き続き

検討させていただき、地域の皆さんの負担が減るようにしていきたい。

(委員) 先ほどもあった役員についてもそうだが、自治会に入らない人自体も増えてきている。こういう中で、例えば自治会に入っていない人に広報なども直接お配りしていることはあるのか。

(地域政策担当) まず市で自治会に加入していない人というのを把握していない。わずかに、過去からの経過で広報を送付している方もいるが、基本的に自治会の中で、広報を配るか配らないかということも御判断いただいている。

(委員) 例えば今月社協で会費のお知らせなどもあったが、そういう人は全く知らないのか。

(地域政策担当) 自治会に所属していない人が市などからの情報を知る手段としてはホームページや、自治センターの玄関にも様々なチラシや案内を設置しているが、地域内でも郵便局窓口など広報を設置している。基本的に自治会を通じてくる情報については、個別で自治会に所属していない家にも広報を配る自治会があるなどの話は聞いてはいるが、全体をこちらで把握しているものではない。

(委員) 昔は自治会に入らないということはなかったが、ここ最近周りでも自治会に入らないとか自治会を抜けるとか、そういう話を聞く。自治会は行政の下部組織ではないということで話があったが、これは自治会で考えていかなければならないことで、やはり自治会が今過渡期にあると感じている。先ほど自治会の役員が多いという話があったが、近い将来近所に子どもがいない現状で、つまりは地域に人がいなくなる、自治会が成り立っていかなくなるということになる。非常に地域の存続について危機感を感じる。

(地域政策担当) このようなお話を窓口でよくご相談を受ける。本当に多くの自治会長から自治会の切実な状況を聞いているところである。このような話題を、住民自治組織や、この地域が一体となって、皆さんと共有しながら、持続可能な地域づくりについて協議を継続していきたいと思っている。

(委員) 私も4年前に自治会長を経験している中で、先ほど別な委員から話のあった内容について、役員選出だとか、そのほかの自治会活動でも一つの自治会で対処出来ないことが実際あると思う。そのような中でも真田の郷まちづくり推進会議の役割については一つポイントになってくると思うが、自治会とのかかわりについて少しお考えを聞きたい。

(地域担当職員) 今の話だが住民自治組織は明らかにそういう(問題を解消するための)目的がある。そういったことを範囲として活動されているところがある一方、当地域の組織としてはフアジーな(輪郭を定めない柔軟性を持った)部分があると地域担当職員としてみている。自治会同士が繋がりをもつことは重要だと考えが出てくることについて、できるところから、今後の活動の範囲として、住民自治組織としての地域の皆さんや評議員の皆さん、理事さんが考えを巡らせることが必要と考えている。今日の評議員会などでも様々な視点で活動を見ていただければと思う。

(2) 次回地域協議会の開催日程について

- ・計画どおり7月26日(火)19時から、内容として地域のスポーツ施設に係る事項について、スポーツ推進課から説明がある。

(3) その他

(委員) 建設課長にお聞きしたい。真田地域菅平の道路で交通規制がある、それと地藏峠で。あれの復旧はいつ頃になるのか？

(建設課長) 菅平ダムの下のところの規制だと思うが、規制はされているものの工事が行われていないので何をやっているのか見えないこともあるかと思う。下の小さな橋の菅平側、谷側の擁壁が倒れ掛かっている。長野県のほうで工事の発注準備を進めていて現在入札の手続き中と聞いている。これ

から業者が決まり、工事が始まるという状況のため、まだしばらく規制は続くと思う。それと地藏峠（長野真田線入軽井沢）では護岸と道路が一体となっている部分が沈んでおり、片側規制をかけている。河川側の工事も想定されるが、出水期になるため、工事日程については県に確認する。

(委員) 菅平は観光シーズンになり渋滞が起こっている。

(建設課長) 菅平は観光のトップシーズンに入るが、安全確保のため、工事中も含め通行規制は続く。

(委員) 直接的には長野県が実施する事業だから上田市では動けないということだと思うが。上田市から事業の推進について長野県に要望することなどはできるか。

(建設課長) 工事自体が長野県の工事のため、少しでも早く工事完了に向けて進むよう市としても要請していきたい。

(委員) ぜひそのように要請していただきたい。

(委員) 旧真田町民としてみんな知りたいことだが、伊勢山バイパスはいつ完成するのか。見通しだけでも教えてもらいたい。

(建設課長) 今、行われている工事は、伊勢山交差点の付近で現道に摺りつく計画で、道路工事のほか、バイパスを横断する歩道橋の工事も行われている。工事は少し遅れている感じがしており、令和6年中なのかといったところと思われるが、はっきりした時期は不明。分かり次第、協議会の場で皆さんにお伝えできればと思う。

(委員) 多分皆さんずっと気にしている。

(委員) あれは真田町からの要望だ。上から中高生が自転車で通学するのに危険だということで始まっているはず。

(建設課長) 今言われたように狭い国道の歩道を小学生が歩いていたり、高校生が自転車で通学したりしていることについて改善要望があつてのことだと思う。完成時期については、今時点では申し上げられないが、また県に確認したい。

事務局から

- ・会議終了後の予定案内

5 閉会